

主な内容

- 3 キラリ天草人
- 4 令和8年度施政方針
- 10 令和8年度予算
- 12 いきいき健康
- 13 暮らしの情報
- 27 図書館で知ろう! / 天草見どころ図鑑
- 28 元気☆あまくさっこ / ○○な人み〜つけた!
- 29 ハッピーバースデー
- 30 宝島のわだい
- 32 市民のひろば
- 34 休日在宅病(医)院 / 献血日程  
水道指定工事店
- 35 お出かけ情報
- 36 第54回牛深ハイヤ祭り

天草市公式 SNS 広報紙(やさしい日本語版)

外国人をはじめ、障がい者や高齢者、子どもにも分かりやすい日本語でまとめた概要版 ホームページ

▷ LINE ▷ Facebook ▷ Instagram ▷ YouTube

SNS 一覧

問い合わせ先

本 庁 | 天草市役所 ☎23-1111  
〒863-8631 天草市東浜町8番1号

支 所 | 牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111  
御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111  
栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111  
五 和☎32-1111・天 草☎42-1111  
河 浦☎76-1111

市長コラム

Mayor's Column



私たちの幸せな暮らしを支えてくれる皆さまへ感謝を込めて

やわらかな春の訪れを感じさせ、河津桜の花が咲き誇る卒業の季節。3月7日は、天草市立本渡看護専門学校の卒業式に出席しました。

最近、新聞に「天草の医療ピンチ」という見出しの記事が掲載され、医療現場の厳しい状況に驚き心配された人も多かったと思います。そんな中、式では卒業生40人のうち21人が天草の医療機関に就職することが報告されました。なんと心強いことでしょうか。コロナ禍を経験し、その過酷さから看護の道を志す人が減っていることも理解できますが、「病気で苦しんでいる人たちを救いたい」「患者さんに寄り添い、その痛みや苦しみを和らげて楽になってもらいたい」との思いを持った看護師を目指すきらきらと輝く若者たちが目の前にいてくれることに、心からの敬意と感謝の気持ちでいっぱいになりました。“天草の今と未来を支えてくれる皆さまが安心して働ける環境を作らねば”と決意を新たにしました。



これまでのコラムは市ホームページ内「市長室」に掲載しています▲

人のうごき		2月末現在	
2月中の異動		※( )内は前月比	
人 口	70,163人(138減)	出生	27人
男	33,295人(40減)	死亡	112人
女	36,868人(98減)	転入	83人
世帯数	35,637(46減)	転出	136人

今月の表紙

さまざまなおひなさまの展示や各種講座、コンサートなど、盛りだくさんの内容でにぎわいを見せた「鬼池ひなの会」。鬼池地区コミュニティセンターには、ひな人形や地域住民手作りのかわいらしいおひなさまたちが華やかに飾り付けられ、訪れた人たちを癒していました。

関連記事を市ホームページトップピク스에掲載。



CAFE

ひなた

陽だまりの場所

栖本を明るく照らしたい



キラリ天草人

「自分にできるカタチで地域を元気にしたい」。そう話すのは栖本町で「CAFEひなた」を営む落合由美子さんだ。

落合さんは、夫の転勤で約30年間福岡で過ごし、両親が元気なうちに60歳を機に夫婦でUターン。地元を元気にしたいという思いや、長年福岡市内の公民館で子どもから高齢者まで幅広い世代と関わってきた経験から、食生活改善推進員(食改)や民生委員など地域の役割を積極的に引き受けた。高齢者のサロンなどで減塩食の試食会を開いたり、一人暮らしの高齢者宅を訪問したりと、精力的に活動を続けている。

昨年1月に父が他界。四十九日が過ぎたころ、「空いた時間に何かできないか」と家族に相談し、地域の人たちや家族が集まれる場所としてカフェを始めることにした。元々料理好きで、弟の飲食店を手伝っていたこともあって準備はスムーズに進み、昨年10月にオープン。週3日の営業で、食改の仲間に手伝ってもらいながらランチや手作りのパンなど

落合由美子さん (栖本町馬場)

を提供している。

お店のSNSはアメリカにいる次女が担当。7歳の孫はロゴマークを描いてくれた。「カフェができるのは、家族の後押しのおかげ」と話す落合さん。オープン当初は地域の人のよりどころになればと思っていたが、今では口コミやSNSを見て天草各地からお客さんが訪れるようになった。「実家に帰ってきたみたい。また来ます」と言ってくれる人もいます。

「日当たりの良い場所なので、日向ぼっこしているようにゆっくりと過ごしてもらいたい」という思いから名付けた「ひなた」。今後はカフェだけでなく、地域の人いろいろなことを企画し、楽しんでもらえる場所にしたと考えている。また、11月には倉岳町に「天草戦国ミュージアム」がオープンする予定なので、そこを訪れる人にも立ち寄ってもらえたらと思いを巡らせている。

彼女の笑顔とパワーで、温かな陽だまりの場所から栖本を明るく照らしていく。

1 店内は弟が調達してくれたというモダンな家具が配置され、落ち着いた雰囲気

2 母の和子さん(左)はお店の「看板娘」で良き相談相手。お互いに元気をもらっている

お店のInstagram ▶

